

# 急性・重症患者看護専門看護師の キャリアパス

希望通り新卒でICU入職。侵襲の大きな術後の患者さんや重症で全身管理が必要な患者さんとその家族のケアにかかわる。ICUで終末期を迎えた患者さんの家族の大きな悲嘆に触れ、どのような関わりができるのか学びたいと思い、大学院進学をその時の師長へ相談、背中を押していただき進学を決めました。

入職

大学院では様々な経験をもった、様々な領域の看護師との話し合いがとても新鮮で、同時に自分の専門領域の狭さを実感しました。急性期にとらわれず患者さんを生活者としてみていく視点の気づきは自分の看護観を揺るがす良い機会となりました。現在も同期で話し合いをするなど高め合う仲間となっています。

6年目  
大学院進学

大学院修了後は救命救急センターへ配属、救急搬送された患者の家族の代理意思決定支援や倫理的問題への対応などをスタッフとともにしています。救命救急センターにとどまらず、組織における役割を意識して救急看護認定看護師や集中ケア認定看護師と相談しながら横断的活動を担っています。

8年目

専門看護師  
認定

救命救急センターやICUなどクリティカルケア領域における倫理的課題への対応や代理意思決定支援、そして院内における重症患者への看護のサポートを行っています。RCT（呼吸ケアチーム）やRRT（ラピッドチーム）、看護部倫理相談などの横断的な活動を他部署の認定看護師・専門看護師や他職種と連携して行っています。

現在